

“カツとギターウルフ”

音に殴られた18歳

1997年。カツ(ショベルダディ)が18歳で東京(横浜だけど)して初めてのライブがギターウルフとMAD3だった。それまでは全寮制の高校生。外出も自由にできないし門限早い&テレビが自由に見れないから、それぞれが自分の好きな音楽ジャンルを掘り進めやすかったと思う。(ショベルだけに)

当時のカツはマディとかエルモアJとかのブルース、50sロカビリー、ネオロカ/サイコビリーとかyardbirds、themとか60sブリティッシュビート、specialsスカ、ジミヘン、日本人だとブランキーとかスライダーズ、麗蘭とかが好きだった。

高校の文化祭でバンドを組んだ。ストレイキャッツとチャックベリーとベンチャーズとレストレスの曲をやった。その頃にギターマガジンとかプレイヤー誌だかにガレージ系の記事があって、そこにギターウルフとかセドリックスとかが書かれてて。今も自分の部屋を探せばその切り抜きが出てくるはず。

高校卒業後、機械系の学校へ行くために横浜へ行った。とにかく東京か大阪かどっか都会へ行きたかった。

文系(?) だけどギターとかバイク旧車、機械が好きだったしモノを作るってのがやりたいから機械系の学部志望だった。だけど入試は落ちまくった。4~5個落ちたんだったかな?

それでも諦めずに最後の最後の3月ついにギリギリ受かった!! 横浜だ!

ようやく掴んだ自分の場所で、念願の初ライブが渋谷クアトロだった。先に東京にいた高校の先輩と同級生2~3人と行った。

クアトロの入り口を開けると、もう爆音が!

テンションが上がって階段を駆け上がった。ギターウルフの音源は持ってたけど、ライブは初体験! しかもそれまで全寮制高校だったのでライブハウス自体が初体験だった。音でぶん殴られた。やられたなー

その後しばらくはガレージ系イベントに独りで行ってた。翌年バイクを買ったから、そいつで横浜から下北や新宿へライブに行った。一人でね。

環七をバイクで走った時は脳汁があふれた。

その頃一緒にライブハウスで遊んでいたのが、現ヤングパリジャンのメンバー(けいちゃん、大川さん、元ベースのキクチマサオさんとか) だった。福生のレッドバード(ダディオーノブさんの店) 閉店の時も居たな。

映画「ワイルドゼロ」をミーナバニー(って言う友達。バイト先の先輩の友達。横浜そごうのアニエスbで働いてるお姉さん) と見に行った。

音源持ってるのはウルフロックとランウルフランとミサイルミーと狼惑星、革ジャケの1999年ジェットジェネレーションまで。7インチの環七フィーバー(古い方)とか、Bad Reputationもあったか。Sonyの環七とカミナリワンもある。

その後バンドで表現したいのがサイコビリーだからそっちがメインになる。(ごめんなさい) でも18歳で食らったあのパンチ(音ですが)がモチベーションだった事は間違いない。あの頃の自分に言ってやりたい。「君は25年後にセイジさんと対バンするよ。ギターはショベルだけどな。」

by katzGRAIS a.k.a. shoveldaddy

写真左: 昔乗ってたバイク「幸福250A」
写真右: カツのサイコ刈り時代
↓カツインスタはこちらから

